



冬の動物園はおもしろいっ

新年明けましておめでとうございます。早いもので最初にこのコラムを始めてからちょうど1年が経過しました。振り返ると悲しい話や明るい話題、動物園での出来事などをつづってきましたが今後もできるだけ更新回数を多くするようがんばりたいと思います。

動物園は新年2日から営業を開始しました。平成21年はチンパンジーの森がオープンしたこともあり三が日は多くの来園者でにぎわいました。しかし動物園という明るい陽光がふりそそぐ春から夏そして行楽シーズンの秋に訪れるというイメージがあります。ここ、かみね動物園も12月から2月はめっきりお客様の数も減ってきます。しかし、この寒い冬だからこそおもしろい動物園が楽しめるってことをご存知でしょうか。そのいくつかを写真とともにご紹介します。

動物園にいる動物たちはアフリカや南米、東南アジアなどの暑い地方に住むイメージがありますが必ずしもそうではなく寒いところで暮らすものもたくさんいます。かみね動物園にはレッサーパンダがいます。レッサーパンダは標高2000メートルを越すような高山地帯に住んでいます。ですから夏の暑さには弱く気温が低くなるこの時期が一番活発に動きまわる姿を見られるのです。実は平成20年暮れぎりぎりに秋田の大森山動物園から3歳のメス麻麻（マーマー）が仲間入りしました。いま元気に外で遊びまわっています。



来園して元気なマーマー

また、暑い地域の動物たちでも寒い冬だからこそ見られるものがあります。カバのひなたぼっこです。普段カバは水の中で生活するため夏などはなかなかその全貌を見ることはできません。しかし寒いこの時期さすがに冷たい水を嫌い陸に上がって母娘2頭が寄り添い暖をとっている姿が見られます。このほかにも少しでも太陽光エネルギーを吸収しようと両手を広げたワオキツネザルの日光浴も愛嬌があっておもしろいものです。またチンパンジーなどもあまりタワーに登らず地上の陽だまりに出てきます。おもしろかったのは二ホンザルの電車ごっこ式暖まり方です。最後の写真をご覧ください。先頭のサルが貧乏くじを引いた感じで一番寒そうでうなだれています。



ひなたぼっこのカバ母娘

ほかにも普通寝ていることの多いネコ科のライオンやトラ、ピューマなども動きまわる姿が見られたりと冬の動物園の楽しみ方もまだまだたくさんあります。日立市は太平洋に面しており冬は雪も降らず晴天の日が多いのも特徴です。そして何よりゆったり見て回ることができます。って「動物園ひとりじめ」でも商売上がったたりなんですけどね。平成21年は2月14日と15日に冬の動物園・ゆうえんちまつりを行います。詳しくはイベント情報をご覧ください。

と思いますが、初の試みとして、イベントの中で豚汁の無料サービスを予定しています。数に限りはありますが豚汁で体を温めて思い切り冬の動物園を楽しんでください。

平成21年1月10日 園長 生江信孝



ワオキツネザルの全身日光浴



陽だまりのチンパンジー



電車ごっこのニホンザル

2009年1月10日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)